大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

学校通信

平成２７年１０月１日
No.２４

生活文化部　大活躍！！
理科研究発表会　最優秀賞受賞！

９月２９日、第５０回大曲仙北児童生徒理科研究発表会が大曲中学校で行われました。本校生活文化部の理科研究に取り組んでいる３つの班が参加しましたが、１班が最優秀賞、２班と３班が優秀賞に輝きました。おめでとうございます。

１班は、「過冷却水でできる氷筍の形や高さの条件Ｐａｒｔ３」～大きな氷筍ができる液体の条件を探る～を研究テーマに、３年田村さん、石神君、伊藤君、小松さん、阿部君、佐藤君の６名の発表でした。

テーマが示すとおり、３年目となる継続研究であり、大きな氷筍をつくるためには、３５分間かけてつくった過冷却水（０度Ｃ以下であって凍らない水）４００ｍＬが好条件であったと実験結果を述べています。

６名は、この後、１１月の全県理科研究発表会に臨むことになりました。当日の講評で指導いただいたことをもとに、さらに研究を深めてほしいと思います。最優秀賞、おめでとうございます。

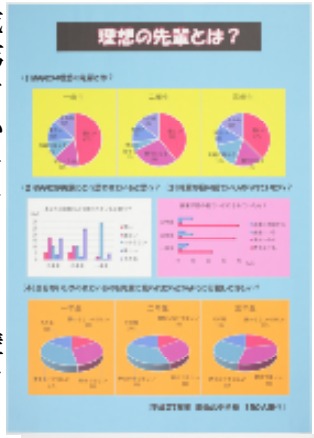
２班は、「コーラフロートがブクブクする理由は？」を研究テーマに、２年田村さん、鈴木さん、福田君、佐藤君、１年工藤君、藤原君、三浦君の７名による発表でした。

コーラフロートは、大きくて冷たいアイスクリームだとブクブクがいっぱい出ると予想しての実験だったようですが、実験してみると、大きくて乳固形分が多いアイスクリームが、少し溶けている状態でブクブクがいっぱい出るという結論に達したようです。優秀賞、おめでとうございます。

３班は、「果物の腐る時間と腐り方の関係」を研究テーマに、２年佐藤君、菅原君、外山君、田口君、１年加藤君の５名による発表でした。

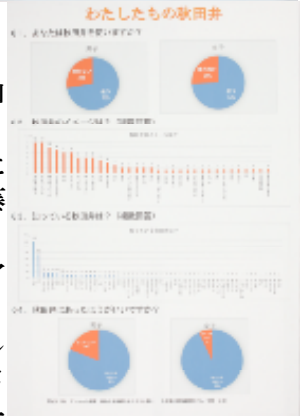
レモン、リンゴ、バナナ、グレープフルーツ、キウイの５種類の果物が腐る時間を調べ、レモンが一番腐りにくかったので、他の果物にもレモンを添えると腐りにくくなるのではないか、と予想して実験を続けたそうです。結果としては、レモンを添える前よりも早く腐ったそうで、レモンの水分が多かったからではないかと結論づけております。予想と実験とその結果の考察、科学はこうして進歩してきました。優秀賞、おめでとうございます。

またも　生活文化部　大活躍！！
県統計グラフコンクール　特選受賞！



夏休み中に作品を完成させ、平成２７年度　第６６回秋田県統計グラフコンクールに応募していた生活文化部の統計グラフ班ですが、このたびコンクールの結果が届きました。

その結果、３年高橋さんのテーマ「理想の先輩とは？」の作品が、パソコン統計グラフの部で、見事、特選に輝きました。おめでとうございます。



また、３年佐藤君、小山田さん、１年石神さんの３名によるテーマ「わたしたちの秋田弁」と、２年伊藤さん、菅原さん、田村さん、佐藤さん４名によるテーマ「秋田のお・も・て・な・し」の２作品が入選しました。３年伊藤さん、斎藤さん、黒川君３名によるテーマ「What is your ideal Obento ?」は佳作でした。

以上の本校の合わせて４作品が、県代表として全国大会に出品されます。

２年池田さん、佐藤さん、佐藤君、伊藤さん４名によるテーマ「意外と知らない！？トイレ事情」の作品も努力賞を受賞しました。

応募作品４３点中、入賞は８点でありますが、本校の応募作品は全て入賞するというすばらしい結果でありました。生活文化部の皆さん、おめでとうございます。

なお、顧問の高田先生は、どの作品もデータをいかに示すかを考え、真摯に作品作りに取り組んでいたので、本校内の作品には甲乙付けがたかった、と話しておりました。

秋の交通安全運動　街頭指導 ＆ 「あいさつこだま運動」

９月下旬は、「全国秋の交通安全運動」が行われましたが、本校でもＰＴＡ校外指導部の協力の下、生徒、保護者、教員により朝の街頭指導を行いました。

また、この期間中に、西仙北小学校との連携事業として、「あいさつこだま運動」を展開しました。小学校玄関前では、本校１年生が、また本校のスクールバス発着所では、西仙北小学校の６年生が、朝のあいさつ運動を行いました。

交通事故防止とさわやかなあいさつ運動で、地域を元気にしていきましょう。

PTA親子共同早朝草刈り作業

２７日は休日ではありましたが、ＰＴＡ環境部主催で「親子共同早朝草刈り作業」を行っていただきました。

本校は、校地内の野球場や公認陸上競技場を含め、その敷地面積は全県で一、二といわれております。先に校舎内外の環境整備についてお知らせしましたが、当日はＰＴＡ環境部の事業として、親子共同早朝草刈り作業によって、校地内の法面を中心に環境整備をしていただきました。

作業は朝６時３０分から吉川環境副部長の司会進行で「始めの会」を行い、佐々木環境部長のあいさつ、作業の諸注意を受け、各部活動単位で校地内の草刈りとその除去を行っていただきました。

作業には、当日、大会に参加するため、予定時間よりも早く来て作業をしてくださったソフトテニス部の保護者や部員を始め、保護者及び祖父母の方々の参加を得ており、ほぼＰＴＡ会員全員の参加をいただきました。

親子で作業をする機会も少なくなってきており、生徒にとっては、貴重な体験学習の一つとも言えます。

終わりの会では、寺山ＰＴＡ副会長から参加者全員へのねぎらいの言葉とともに、斎藤生徒会長から保護者の方々への感謝の気持ちが伝えられ、全校生徒でお礼を述べました。

お陰様で、見違えるようにきれいになった校地で、「立志祭」のお客様を気持ちよく迎えることができます。参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

「我が意を得たり！」

「心の教室」の佐藤先生が発行する「はっぴー便り」１０月号で、スポーツジャーナリスト二宮清純氏の「勝つ組織は準備と努力をしている」という講演が紹介されていました。

シドニーオリンピックのマラソンで優勝した高橋尚子選手の例を挙げ、何かに勝つ人は、それなりに物凄い努力と準備をしているから結果を出せるのだと力説したという内容です。

そこから、本校の田沢湖駅伝の選手たちの成果も、きっと一人一人が陰で言わぬ見せぬ努力や準備があったからだと続け、将来、大人になり仕事をする上でも準備や努力が重要なことを、彼ら彼女らは既に学んでいると書いてくれています。

まさに我が意を得たり、共感と言うよりも同感です。

今回の生活文化部の晴れの表彰も、毎日のひたむきな積み重ねがあったからこそだと思います。生徒には、このように輝く一瞬のための計り知れない時間を思いやれる人になってほしいとも思いました。

学校祭「立志祭」にお出でください

１０月４日（日）、９時１５分から、「立志祭」を行います。２８日、保護者の方々に、ご案内を差し上げましたが、日頃から本校の教育活動へのご理解・ご支援を賜っております地域の方々も、どうぞご来校くださるよう、ご案内申し上げます。

当日は、日常の学習活動の一端を示す教科展示やムービー、NISHISENソーランや「大いなる秋田」の合唱奏、吹奏楽演奏、各種発表・演舞等、また、バザーや食堂、屋台等を行う予定です。

現在、本校に在籍する子どもさんがいらっしゃらない方々も、どうぞお誘い合わせの上、ご来校ください。地域の方々への感謝も込めて、全校でお待ちしております。現在、生徒はお迎えの準備に精一杯努めております。